

南区の地区公園、街区公園等には、桜の木や梅の木が多く植えられ、四季折々の市民の憩いの場となっています。

また、子どもの豊かな遊びと文化創造の中核拠点としての「ビッグ・バン」や「国連・障害者の十年」を記念し、障害者の社会参加を促進することを目的とした「ビッグ・アイ」などがあり、堺市のみならず全国の多様な人々が自由にふれあうことができる施設がそろっています。

●荒山公園（宮山台2-3）

梅林は花の名所づくりの一環として昭和59年（1984年）から植樹が始まり、現在47品種・約1,300本が植えられています。2月中旬から3月上旬に見ごろを迎えます。



●西原公園（桃山台1丁、2丁）

公園内にある大方池のまわりを中心に約1,600本のソメイヨシノが植えられており、満開時には多くの花見客で賑わいます。ケヤキ並木やアカマツも植えられ、年間を通じて自然豊かな景観を楽しむことができます。

また、観覧席を備えたグラウンドは11,000㎡の広さがあり、サッカーや軟式野球、ソフトボールなどに利用できます。



●堺公園墓地（鉢ヶ峯寺773他）

園内の外周道路に沿って桜が植えられており、毎年家族連れなどでにぎわいます。



●ビッグ・バン（府立大型児童館）（茶山台1-9-1）

「遊び」をテーマに「子どもの豊かな遊びと文化創造の中核拠点」として、平成11年（1999年）6月にオープン。ストーリー性のある非日常空間を演出。立体触地図、点字等によるサインなど、すべての子どもたちにやさしい福祉設備を整えています。

目をみはる外観は、本館1階のエントランスフロアから、2階、3階のフロアにわたる段状の大空間、その上は着陸した宇宙船をイメージした4階部分で構成されています。隣には、半円の球形劇場（こども劇場）、そして地上高53メートルの遊具の塔がそびえ立っています。



●ビッグ・アイ（国際障害者交流センター）（茶山台1-8-1）

「国連・障害者の十年」を記念して、整備されました。障害者自らが行う国際交流活動や芸術・文化活動の場、また、障害者のみならず、広く国民の参加する交流の場として、障害者の社会参加を促進することを目指しています。

